



**2010年度(2011年3月期)
第3四半期 決算説明資料**

2011年1月31日

株式会社 商船三井

目次

2010年度 第3四半期 連結決算概要	2
2010年度 第3四半期 連結決算の要点	4
連結 経常利益 前年同期比増減要因分析	5
2010年度 通期 連結決算見通し	6
2010年度 業績予想の要点	8
[補足資料]	
連結営業外・特別損益／単体運航費	9
ドライバルク船市況	10
油送船市況	11
自動車輸送台数	12
主要コンテナ船航路消席状況・運賃推移	13
GEAR UP! MOL 全体利益計画	14
安定利益	15
キャッシュフロー・設備投資	16
財務計画	17

2010年度 第3四半期 連結決算概要

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

	2010年度				2009年度				増減	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4-12月実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4-12月実績		
売上高	3,970	4,059	3,776	11,805	2,975	3,271	3,608	9,854	+1,951	+20%
営業利益	391	435	257	1,083	△123	8	138	24	+1,059	
経常利益	392	411	253	1,056	△115	15	138	38	+1,019	
当期純利益	208	274	78	561	△130	31	121	22	+539	
為替(期中平均)	¥91.44/\$	¥87.78/\$	¥83.36/\$	¥87.53/\$	¥97.21/\$	¥94.85/\$	¥90.40/\$	¥94.15/\$	△¥6.62/\$	
燃料単価(期中平均)	\$474/MT	\$469/MT	\$485/MT	\$475/MT	\$313/MT	\$394/MT	\$445/MT	\$385/MT	+\$90/MT	

[セグメント別]

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2010年度				2009年度				増減	
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4-12月実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4-12月実績		
不定期専用船事業	売上高	2,098	2,017	1,908	6,023	1,549	1,755	1,958	5,262	+761	+14%
	経常利益	280	217	131	628	41	160	218	418	+210	+50%
コンテナ船事業	売上高	1,464	1,620	1,447	4,531	1,040	1,117	1,237	3,394	+1,138	+34%
	経常利益	85	174	80	339	△ 200	△ 176	△ 126	△ 501	+841	
フェリー・内航事業	売上高	122	136	131	389	123	132	135	390	△ 1	△ 0%
	経常利益	△ 10	7	3	1	△ 9	△ 2	△ 1	△ 12	+13	
関連事業	売上高	267	268	271	806	240	246	252	738	+68	+9%
	経常利益	26	26	28	81	31	25	23	78	+2	+3%
その他事業	売上高	19	16	21	56	24	21	26	70	△ 15	△ 21%
	経常利益	5	5	11	21	10	4	2	15	+6	+40%
調整(消去・全社)	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	5	△ 19	△ 0	△ 14	13	5	22	40	△ 53	
連結	売上高	3,970	4,059	3,776	11,805	2,975	3,271	3,608	9,854	+1,951	+20%
	経常利益	392	411	253	1,056	△ 115	15	138	38	+1,019	

●「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

●不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

2010年度 第3四半期 連結決算の要点

【概況】

- 3Q(2010年10~12月)の世界経済は減速しつつも回復基調を維持。
- 円高進行、燃油価格上昇の中、経常利益は前年同期比**1,000億円超改善**(1-3Q)

【セグメント別】 [2010年度1-3Q(9ヶ月)経常利益実績 (前年同期比増減)]

不定期専用船事業 [**628億円** (+210億円)]

- ドライバルク船部門: 鉄鉱石売買契約の四半期毎更改化でCapesize市況の変動拡大⇒1-3Qの平均市況は**3.3万ドル**と前年同期比3割低下。インド産鉄鉱石の輸出禁止で昨秋以降Panamax市況が若干弱含むも、Handymaxの底堅さもあり前年同期比増益維持。
- 油送船部門 : 原油船(VLCC)、プロダクト船とも低位市況続く。中東からの輸出増でLPG船運賃改善するも、部門全体の赤字継続。
- 自動車船部門 : 1Q(**82万台**)⇒3Q(**94万台**)へと順調に積取り台数増加。

コンテナ船事業 [**339億円** (+841億円)]

2Q⇒3Qへと季節要因による需要減少で運賃市況緩むも、世界的な荷動き回復傾向の中、前年同期比で大幅に損益改善。減速航海による燃料費削減も含めたコスト削減努力の継続、高採算貨物の選別集荷等の諸対策も採算改善に寄与。

【コスト削減】 通期増額目標480億円に対し1-3Qで**350億円**を達成。

連結 経常利益 前年同期比増減要因分析

【2009年12月期→2010年12月期】

円高	△99 億円	当期 ¥87.53/\$; ¥6.62 の円高
燃料油価格上昇	△136 億円	当期 \$475/MT; \$90 上昇
積取り・運賃変動等	+922 億円	
コスト削減	+351 億円	内 コンテナ船事業175億円
持分法投資損益増減	+40 億円	
その他(調整額含む)	△60 億円	
(差し引き)	+1,019 億円	

2010年度 通期 連結決算見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

	2010年度							2009年度	増減
	上期	下期			通期	通期見通し	差異		
	実績	3Q実績	4Q見込み	見込み	見通し	(10月29日時点)		通期実績	
売上高	8,028	3,776	3,495	7,272	15,300	15,500	△ 200	13,480	+1,820
営業利益	826	257	157	414	1,240	1,300	△ 60	209	+1,031
経常利益	803	253	144	397	1,200	1,300	△ 100	242	+958
当期純利益	483	78	9	87	570	650	△ 80	127	+443
為替(期中平均)	¥89.61/\$	¥83.36/\$	¥82.00/\$	¥82.68/\$	¥86.15/\$	¥84.81/\$	+¥1.34/\$	¥93.25/\$	△¥7.10/\$
燃料単価(期中平均)	\$471/MT	\$485/MT	\$550/MT	\$517/MT	\$494/MT	\$486/MT	+\$8/MT	\$406/MT	+\$88/MT

(参考)

為替Sensitivity	(2010年度4Q)	±3.0億円/1¥	(最大)
燃料単価Sensitivity	(2010年度4Q)	±0.5億円/1\$	(最大)
(連結経常損益ベース)			

[セグメント別]

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2010年度							2009年度	増減
		上期 実績	下期		通期 見通し	通期見通し (10月29日時点)	差異	通期 実績		
			3Q実績	4Q見込み					見込み	
不定期専用船事業	売上高	4,115	1,908	1,677	3,585	7,700	8,000	△ 300	7,217	+483
	経常利益	497	131	72	203	700	820	△ 120	670	+30
コンテナ船事業	売上高	3,085	1,447	1,369	2,815	5,900	5,800	+100	4,664	+1,236
	経常利益	259	80	51	131	390	350	+40	△ 569	+959
フェリー・内航事業	売上高	258	131	121	252	510	510	+0	508	+2
	経常利益	△ 3	3	△ 5	△ 1	△ 4	△ 2	△ 2	△ 23	+19
関連事業	売上高	535	271	314	585	1,120	1,120	+0	998	+122
	経常利益	53	28	24	52	105	110	△ 5	97	+8
その他事業	売上高	35	21	15	35	70	70	+0	93	△ 23
	経常利益	10	11	△ 6	5	15	10	+5	13	+2
調整(消去・全社)	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△ 14	△ 0	8	8	△ 6	12	△ 18	55	△ 61
連結	売上高	8,028	3,776	3,495	7,272	15,300	15,500	△ 200	13,480	+1,820
	経常利益	803	253	144	397	1,200	1,300	△ 100	242	+958

●「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

●不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

2010年度 業績予想の要点

【概況】

通期業績予想を下方修正

	前回(10/29)	今回(1/31)
経常利益	1,300億円	⇒ 1,200億円

※為替前提 : 4Q- 82円/ドル (前回-80円/ドル) (4Q Sensitivity ±3.0億円/¥1)

燃料油価格前提 : 4Q- 550ドル/MT (前回-500ドル/MT) (4Q Sensitivity ±0.5億円/\$1)

【セグメント別】 [予想経常利益 (10/29発表値からの増減)]

不定期専用船事業 [700億円 (▲120億円)]

- ドライバルク船部門 : 昨年12月以降、東豪州での洪水による石炭出荷停滞で Capesize、Panamaxの市況下落。⇒ 4Qの市況前提引き下げ。
(Capesize 3.6→1.2万ドル/日, Panamax 1.9→1.3万ドル/日,
Handymax 1.9→1.4万ドル/日, Small Handy 1.6→1.2万ドル/日)
- 油送船部門 : 冬場の需要期における市況回復が想定ほど盛り上がりせず。
VLCC、プロダクト船ともに4Qの市況前提を下方修正。

コンテナ船事業 [390億円 (+40億円)]

欧州往航の堅調、北米往航の4Qでの荷量回復、好調なアジア域内輸送を織り込み利益を上方修正。

【コスト削減】 通期増額目標480億円を据え置き(うちコンテナ船240億円)

【配当】 通期予想配当一株あたり10円(中間5円+期末5円)

連結 営業外・特別損益／単体運航費

1. 連結 営業外収益・費用明細

(2010年度 第3四半期:累計)

(億円)

営業外収益		133		営業外費用		160	
受取利息	11	支払利息	87	受取配当金	30	為替差損	49
持分法による投資利益	68	その他営業外費用	25	その他営業外収益	24		

2. 連結 特別利益・損失明細

(2010年度 第3四半期:累計)

(億円)

特別利益		89		特別損失		239	
固定資産売却益	49	固定資産売却損	25	投資有価証券売却益	11	固定資産除却損	38
傭船解約金	15	減損損失	88	その他特別利益	14	投資有価証券評価損	4
		傭船解約金	59			その他特別損失	24

3. 単体 運航費明細

(百万円)

	2010年度 第3四半期:累計	2009年度 第3四半期:累計
港費	54,684	48,645
貨物費計	135,191	116,000
内訳: 荷役費及び接続費	119,618	104,243
歩金仲介料	13,324	10,711
一般貨物費	2,249	1,046
燃料費	178,496	145,170
雑費	2,959	2,329
合計	371,330	312,144

ドライバルク船市況

1. 2009年度 ドライバルク船市況

(スポット契約の1日あたり備船料)

単位:ドル

船型	対象航路	2009年度				
		上期		下期		通期
		第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	
ケープサイズ	4航路平均	46,100	45,000	55,500	34,200	45,200
パナマックス	4航路平均	18,000	21,600	27,700	29,500	24,200
ハンディマックス	5航路平均	16,600	19,700	22,300	25,100	20,900
スモールハンディ	6航路平均	10,900	12,300	15,000	17,600	14,000

実績出典: The Baltic Exchange

2. 2010年度 ドライバルク船市況前提

単位:ドル

船型	対象航路 (実績のみ)	2010年度				
		上期		下期		通期
		第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 見通し	見通し
ケープサイズ	4航路平均	38,400	26,300	34,400	12,000	27,800
パナマックス	4航路平均	30,900	21,700	18,200	13,000	21,000
ハンディマックス	5航路平均	27,800	19,800	17,300	14,000	19,700
スモールハンディ	6航路平均	20,000	15,200	12,800	12,000	15,000

※本頁及び次頁の市況表において、「実績」とは対象航路の一般的な市況実績を示し、「見通し」とは当社スポット運航船(期間1年以下の輸送契約を履行)の収入前提に使用した数値を指す。尚、業績予想発表時点で荷主と運賃を合意済みのスポット運航船については、合意運賃を損益計算に使用している。

油送船市況

1. 2009年度 油送船市況 (スポット契約の運賃指標)

単位: ワールドスケール(WS)

船型	WS参照年 (VLCC)	2009年度				
		第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	通期 実績
原油船(VLCC)	2009年ベース	36	36	48	68	47
【Arabian Gulf - East】	(2010年ベース)	(48)	(48)	(64)	(90)	(63)
石油製品船(MR型)		69	82	107	136	99
【Singapore - Japan】						

実績出典: The Baltic Exchange

2. 2010年度 油送船市況前提

単位: ワールドスケール(WS)

船型	WS参照年 (VLCC)	2010年度				
		上期		下期		通期
		第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 見通し	通期 見通し
原油船(VLCC)	2010年ベース	88	52	58	70	67
【Arabian Gulf - East】	(2011年ベース)	(72)	(43)	(48)	(58)	(55)
石油製品船(MR型)		139	137	139		
【Singapore - Japan】						

実績出典: The Baltic Exchange

自動車輸送台数

(1000台)

(完了ベース／航海傭船を含む)	2010年度						2009年度
	第1四半期	第2四半期	上期 実績(A)	第3四半期	下期 見通し(B)	通期 (A)+(B)	通期 実績
合計	823	862	1,685	940	1,813	3,498	2,521

主要コンテナ船航路 消席状況・運賃推移

北米航路(アジア/北米)

(単位:1000TEU)

		2009年度					2010年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
往	保有	125	128	128	115	496	142	166	166		
	稼働	103	117	120	109	450	144	165	129		
	消席率	83%	92%	94%	95%	91%	101%	99%	78%		
復	保有	120	128	129	118	495	132	165	166		
	稼働	85	86	94	88	352	78	87	93		
	消席率	71%	67%	73%	74%	71%	59%	53%	56%		

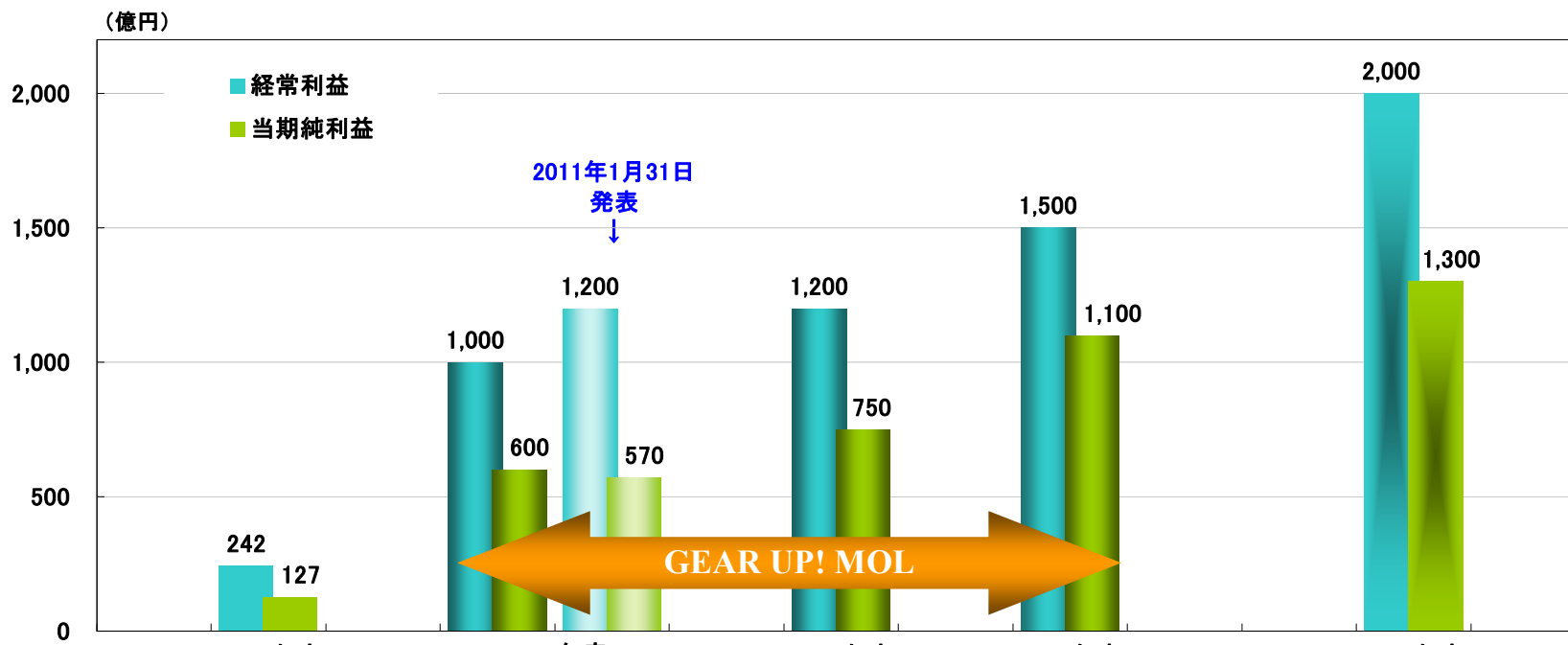
欧州航路(アジア/欧州)

		2009年度					2010年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
往	保有	88	77	85	84	334	92	107	109		
	稼働	67	78	87	85	317	92	107	109		
	消席率	76%	101%	102%	101%	95%	100%	100%	100%		
復	保有	89	85	89	87	350	92	107	109		
	稼働	53	54	60	59	226	60	60	64		
	消席率	60%	64%	68%	68%	65%	65%	56%	59%		

運賃推移(指数表示 2008年度 第1四半期=100)

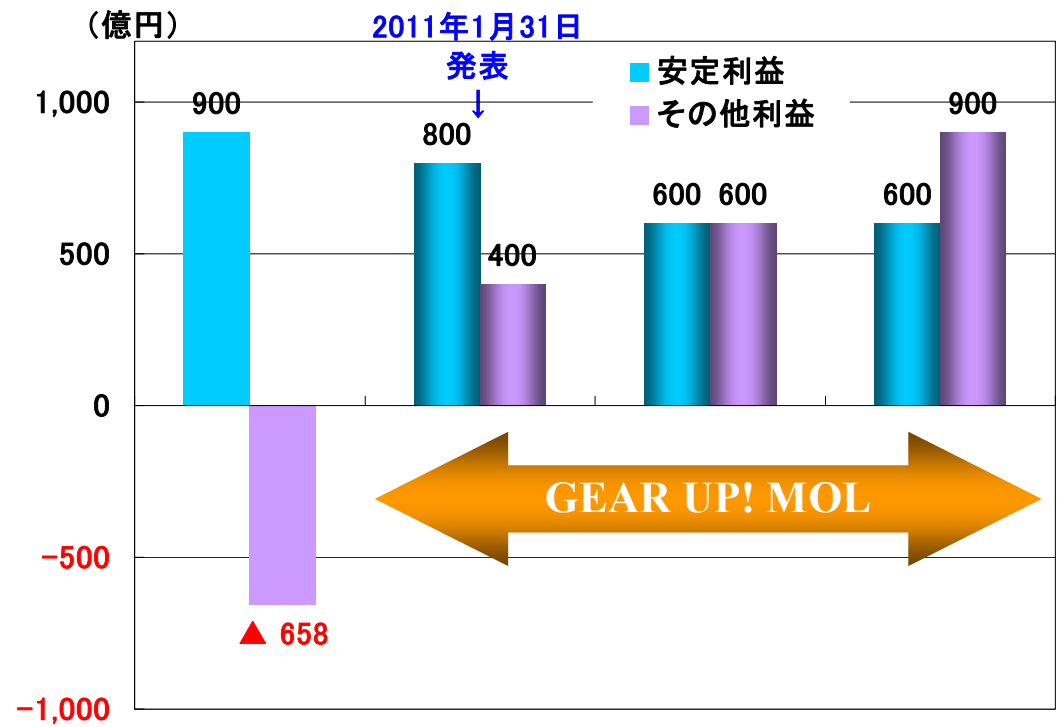
	2008年度				2009年度				2010年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全航路平均	100	103	95	77	70	69	76	86	99	107	98	

GEAR UP! MOL 全体利益計画



	2009年度 実績	2010年度 計画	2010年度 見通し	2011年度 計画	2012年度 計画	2015年度 目標
売上高	13,480	15,500	15,300	17,000	18,000	20,000
営業利益	209	1,000	1,240	1,200	1,500	
売上高経常利益率	1.8%	6.5%	7.8%	7.1%	8.3%	10.0%
平均為替(¥/\$)	¥93.25/\$	¥90/\$	¥86.15/\$	¥90/\$	¥90/\$	¥90/\$
平均燃料油価格(\$/MT)	\$406/MT	\$500/MT	\$494/MT	\$500/MT	\$500/MT	\$500/MT

安定利益

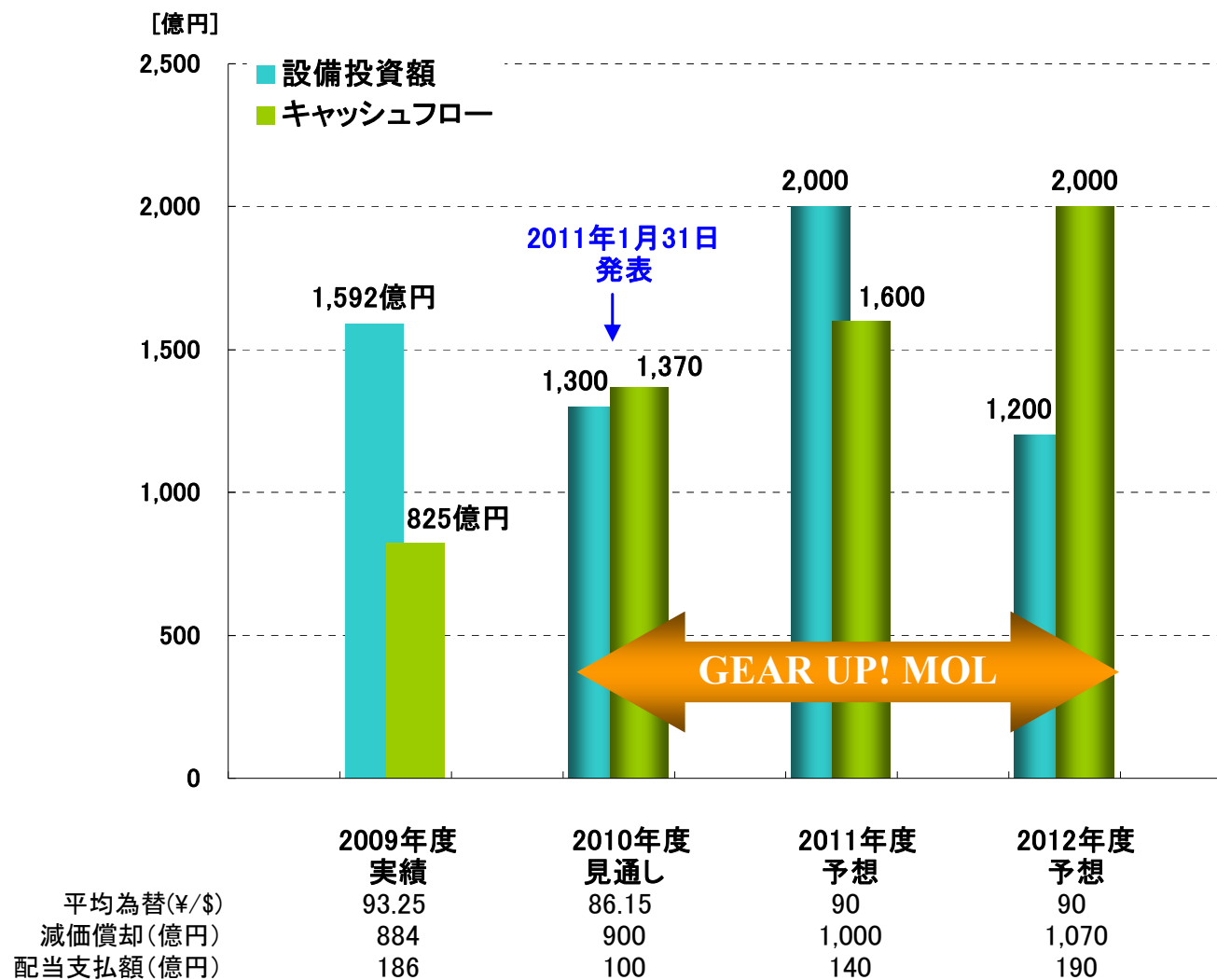


	2009年度 実績	2010年度 見通し	2011年度 計画	2012年度 計画
経常利益(億円)	242	1,200	1,200	1,500
平均為替(¥/\$)	¥93.25/\$	¥86.15/\$	¥90/\$	¥90/\$
平均燃料価格(\$/MT)	\$406/MT	\$494/MT	\$500/MT	\$500/MT

『安定利益』=1年を超える中長期契約により確定している利益、及び安定性の高い事業の利益
(対象部門:ドライバルク船、油送船、LNG船、関連事業、その他事業)

安定利益 + その他利益 = 経常利益

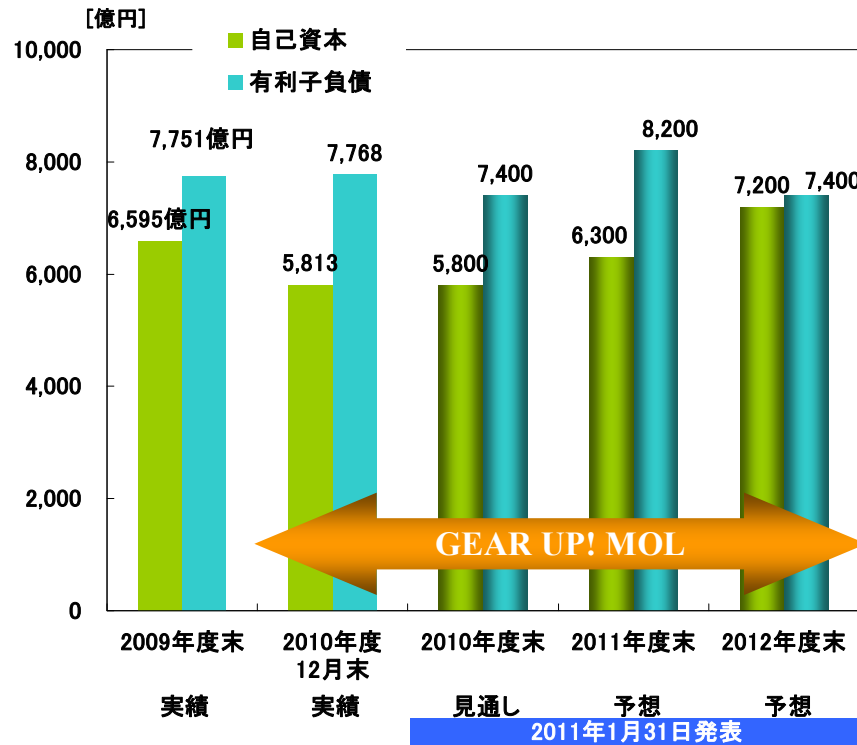
キャッシュフロー・設備投資



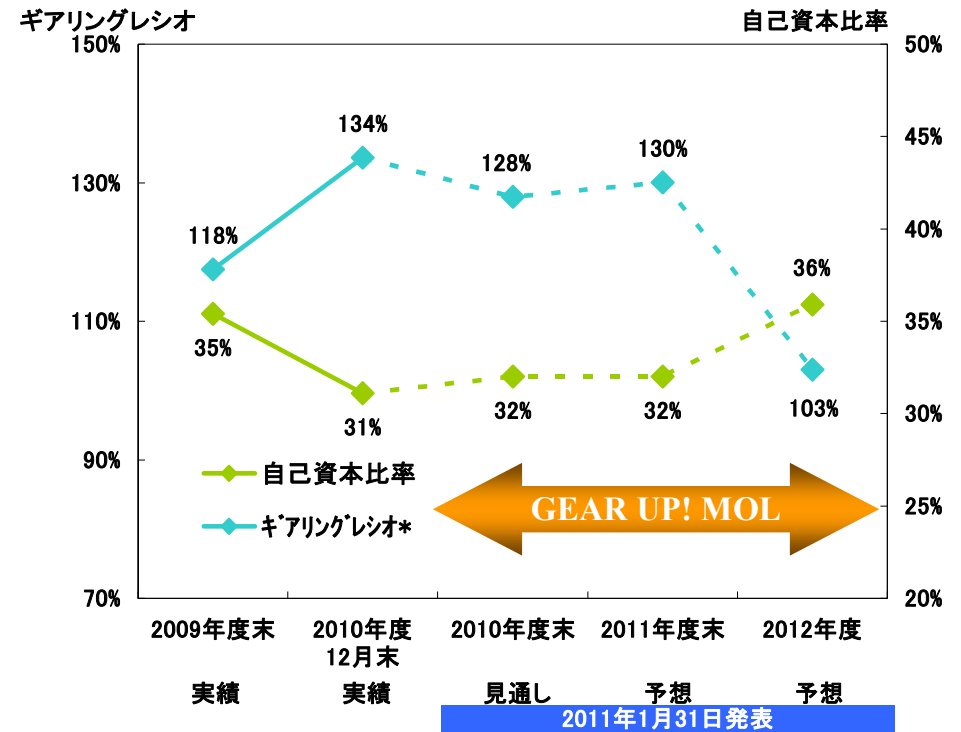
註) キャッシュフロー = 当期純利益 + 減価償却 - 配当支払額(*)

(*) 配当性向20%前提(見通し・計画)

財務計画



期末為替(¥/\$)	実績	実績	見通し	予想	予想
単体	93.04	81.49	82	90	90
海外会社	92.10	83.82	81.49	90	90



*ギアリングレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本